

## 北部地区環境市民会議が調べた環境の現状

北部地区の東エリアは住宅地が開発されており、その中には、従来からの緑地が保存緑地として保存されている箇所もあります。西エリアは南・北加住丘陵があり、豊かな緑が残っています。地域の中央には谷地川が流れ、上流では従来からの自然護岸が残っています。

交通面では、国道16号、16号バイパス、国道20号、滝山街道に加え、新滝山街道が開通し、中央自動車道八王子ICの他に圏央道あきる野ICも近くに建設され、交通の要衝となっています。

このような状況の中で、以下の課題も顕在化してきており、多分野からの対応を求められています。

- ・谷地川上流部での水質・水量を改善する
- ・加住丘陵などで、手入れが行われない樹林地が存在
- ・生活の場所から見えない場所でのごみの不法投棄
- ・環境保全活動が共通の認識になっておらず、温度差がある
- ・小・中学生が地域にある貴重な自然資源や文化、歴史を知る機会の少なさ
- ・地域内の幹線道路の大気汚染の状況は横ばいである

## ■ 北部地区の主な取組

### 1 谷地川の調査と清掃活動

谷地川の7地点で、隔月ごとに水質調査(COD、pH、電気伝導度、溶存酸素等の定点観測)を実施しているほか、水量調査と生物調査を年1回実施しています。また、6月2日に実施された全国一斉水質調査に、継続して参加しています。

9月1日の市主催の「川の清掃デー」では、滝山二丁目町会と協働して川の清掃を行い、草が繁茂している河川敷に入りごみを回収しました。



谷地川(河川敷)の清掃

### 2 緑地保全活動

北部地区の環境活動団体と協働して、都の緑地保全地域(4か所)、市の緑地(3か所)等を保全・整備しています。令和2年1~2月にかけて、大谷緑地保全地域で計画的に行っている萌芽更新を実施し、雑木林の一区画を皆伐しました。林床は一変し、今後も保全活動をしながら植生の変化を観察していきます。

また、暁町緑地保全地域ではアカマツ群にマツノザイセンチュウに由来する松枯れが全面的に発生し、都、市と協働して皆伐燻蒸処理を実施しました。



チェーンソーを使用する皆伐作業

### 3 環境教育・環境学習などの推進

小宮小学校、第八小学校の4年生並びに宇津木台小学校の全学年を対象に、多摩川及び浅川で自然を学ぶ授業を支援しています。環境教育として体系的なプログラムであり、小学生には非常に有効です。延べ4回実施し、実施後には環境学習活動の概要を示すパネルを作成しました。

市内の他団体とともに、大和田小、第八小、緑が丘小、渋谷区の代々木山谷小に対して、里山林の意義と活用の仕方を学ぶ活動を実施しました。



自然体験を通じた環境教育

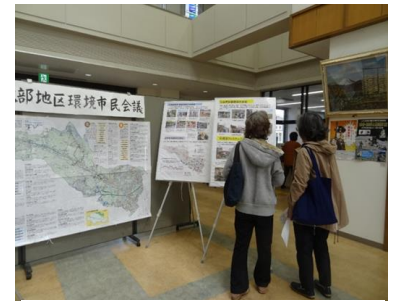
小学生の自然体験は、楽しみながら自然を体験し学ぶ場になっています。大学生に対しては、東京グリーンキャンパスプログラムとして、首都大学東京(現・東京都立大学)の学生に対して秋に1回、また、企業に対しては、東京グリーンシップアクションとして、緑地整備の体験を通して、環境問題や緑の保全の重要性を理解してもらうプログラムを2回実施しました。また、都主催の「里山へGO！」にも協力・参加するとともに、近隣住民との関連を重視し、里山林の意義と活用を知っていただくことを趣旨に、里山で子供向けのプログラムを市民講座として実施しました。

#### 4 大気汚染測定

地区内の幹線道路、その他の道路、道路に面さない場所等を対象に二酸化窒素濃度の定点調査を年2回(6月、12月)、都内一斉調査日に継続して実施しています。6月は37か所、12月は41か所で調査しました。従来6月の濃度は低め、12月は高めの傾向でしたが、令和元年度は6月の濃度が平成30年12月並みの高い値でした。12月の濃度は多くの場所で平成30年12月よりも低くなりました。都内、市内全域でも同様の結果でした。また、地区を通る16号バイパスでは、やや高い濃度の測定値が継続して記録されています。

#### 5 地域との協働活動の推進

「環境市民会議」の知名度をアップするために、石川・加住市民センターでの市民会議活動状況のパネル展示、市民対象の雑木林探検隊開催(エコひろば共催)、ダンボールコンポスト講習会での活動紹介等を行いました。また、6地区環境市民会議の協働活動実行委員会の一員として、自然体験講座では「はち六自然巡りアワード」を実施したほか、「NPOフェスティバルはちおうじ」へ参加し、市民への広報活動を行いました。



石川市民センターでのパネル展

### ■ 特色のある取組

#### 1 環境フェスティバルへの参加

地区内の活動を紹介するパネル展示と、谷地川で捕獲した生き物を水槽に入れた展示は、子どもたちの興味を引きました。恒例の花ポットの配布も人気があったほか、野草の押し花で作る葉は、小さな花を身近に感じられるものとして、女性に人気がありました。

#### 2 環境パネル展への参加

市主催の第10回環境パネル展に6地区共通の活動内容である「自然体験講座」の概要説明パネル1枚を作成・展示しました。

#### 3 自然体験講座の実施

年2回、当地区にある自然と歴史の資産である滝山城跡と高月の田園風景を紹介するための散策会を計画しました。秋季の滝山城跡巡りは、歴史をテーマにした散策でした。

#### 4 スキルアップのための施設見学の実施

ビール工場を訪ねて、製造会社としての環境配慮について伺うことができました。

#### 5 新型コロナウイルスの影響

令和元年度末からの新型コロナウイルス感染防止対策により、谷地川水質調査、環境教育、春季の自然体験講座(高月田園散策)、施設見学(UR 都市機構)等が中止になりました。



自然体験講座(滝山城跡)